

「伊庭貞一 能面展」 実施報告

令和3年9月23日
能面作家 伊庭貞一



案内DM

滋賀の能面文化を伝承して、22年前より能面制作に勤しみ努力してまいりました。滋賀には古くから能楽文化、能面文化が発展伝承されてきました。

今回、私の作品を展示して、滋賀の能面文化を知って頂き、伝承発展に繋げていきたいと考え、「伊庭貞一・能面展」を開催致しました。

1、行事内容

【行事名】 「伊庭貞一 能面展」(近江の能面を求めて)

【日程】 令和成3年8月31日(火)～9月5日(日)

【会場】 ポルタギャラリー 華 (入場無料)

京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町902番地
(京都駅前地下街ポルタ内) [TEL] 075-365-7533

【企画内容】

伊庭貞一制作「能面」(近江イセキの写し2面含む)の展示、能楽ビデオの上映。

2、日程

8月30日(月)午後	・準備
8月31日(金) 11時～19時	・開催
↓	
9月5日(火) 11時～17時	・開催
17時～	・後片づけ

3、入場者

8/31～9/5 計 250名

4、展示会成果

- ・コロナ禍の状況下にもかかわらず、250名のお客様にお越し頂きました。
人数的には、前回開催時に比べ、約1/3で、案内を受け取った人からの不参加お詫びを頂いたりしました。
また、会場近辺の通行人も少ないこと、インバウンドの方が皆無なこと大きく影響しました。
- ・適当な入場者だったことが幸いして、丁寧な解説を行うことで能楽能面の理解を深めることが出来たことは別の意味で大きな成果だったと言えます。
- ・この秋に催される薪能、または予定されていた能公演に使用される能面も展示をして、能楽と能面の関係を直接伝えることが出来たと考えます。
- ・滋賀県には多くの古い能面が收藏されていて、今回は多賀大社収蔵面2面の写し（複製）を展示し、近江の能面の歴史の一端を披露することが出来ました。

5、展示会場状況写真



会場入口正面



会場内・南壁面



会場内・西壁面



会場内・北壁面



会場内・能楽ビデオ再生中



能面「天神」・能舞台写真「舍利」



能面「増女」・10/2 豊中島熊山新能にて使用



ポルタ地下街に掲示のポスター



来場者とともに＝元滋賀県文化振興事業団k氏、能楽師 浦部好弘師



来場者とともに



来場者とともに



新能「白鬚」に使用予定の能面「鼻瘤悪尉」



多賀大社収蔵面・能面「橋姫」写



多賀大社収蔵面・能面「三日月」写



新作能「高虎」に使用＝能面「高虎」

以上